

平成 25 年度各会計予算

概 要	2 ~ 3
総括質疑・委員長報告・討論	4 ~ 8
こんなことが決まりました	9 ~ 14
条例の制定・改正など	
一 般 質 問	15 ~ 21
町の歴史・文化財紹介	22
(光福寺の島村圓鉄彫刻)	



3月定例会

平成25年度予算 一般会計外5特別会計を可決

若者住宅、コミュニティプラ修繕、地籍調査

予算編成方針

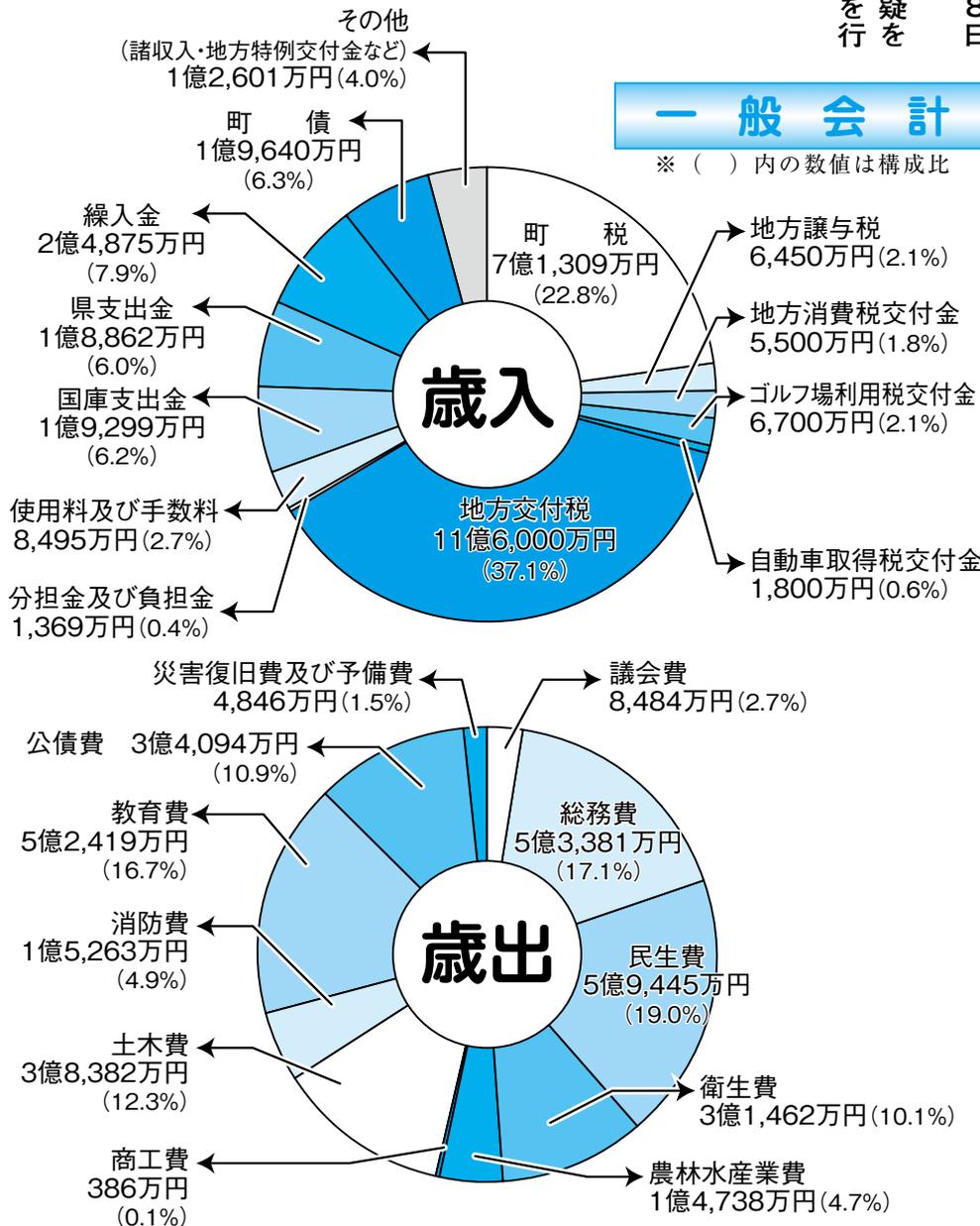
各分野の歳出の見直し、町の事業を選択、有利に事業展開ができるよう努めました。集中と選択によって住民の理解と協力が得られるよう検討・精査し編成しました。主なものは地籍調査事業、むつみニュータウンのコミュニティプラントの修繕工事詳細設計業務委託、若者定住型賃貸住宅建設工事及び農業用施設災害復旧工事です。

平成25年第1回定例会は、3月5日から12日までの8日間を会期として開催されました。平成25年度の一般会計外5特別会計予算は、総括質疑を行った後、議員全員による特別委員会を設置し、審議を行いました。提出された32議案を質疑の後可決しました。7議員が一般質問を行い町政を問いました。

31億2,900万円スタート

一般会計

※ () 内の数値は構成比



特別会計

国民健康保険特別会計

10億4,401万円

後期高齢者支援金、介護納付金、保険事業費として特定健診、特定保健指導経費と人間ドック、心の健康づくり事業経費など。

農業集落排水事業特別会計

8,529万円

久保・北部両地区処理施設管理費、特定地域生活排水処理事業の管理費及び新規浄化槽設置工事費など。

介護保険特別会計

6億8,214万円

居宅・施設介護サービス給付金、居宅介護福祉用具購入費、居宅介護住宅改修費、居宅介護サービス計画費、特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費、介護度重度化防止事業費、地域包括支援センターでの総合相談等の経費など。

かずさ有機センター特別会計

1,856万円

ふん尿処理、もみ殻回収及び施設の維持管理費など。

後期高齢者医療特別会計

7,361万円

保険料徴収経費、後期高齢者広域連合納付金、人間ドック補助金など。



議会による排水整備現地調査(上市場)

一般会計歳出の主な内容

営農支援

かずさ有機センターを活用した環境保全型農業推進、米のブランド化の促進、認定農業者及び農業後継者の育成、農業活性化推進基金の創設。

子育て支援の充実

病児保育、未熟児への医療費給付・訪問支援、子ども・子育て支援計画策定への事前調査、若者定住施策、



学校等問題調査検討委員会設置、教育施設改修、教育施設整備基金積立て。

健康(康)長寿のまちづくり

検診項目の拡充、高齢者・一人世帯への保健師の訪問、福祉タクシーの助成

協働・防災のまちづくり

避難所・防災倉庫の備品購入、自主防災組織の防災資機材の整備、防災行政無線のデジタル化へ向け更新工事の設計。

拡大。運動公園施設環境整備、町内主要道など整備。

町制施行30周年記念事業

ふるさとまつり開催等。



商品化されたむつざわエコ米

一般 会 計

総務

疑

岡澤宏一議員 今年度予算へ後期基本計画の内容はどのように反映しているか。また、住民との対話行政の今後は。

質

町長 若者定住の賃貸住宅10棟建設を予算化しました。住民対話での要望等は、優先順位を検討中です。

括

市原裕一議員 若者定住の事業で、うまく進まなかった場合の責任は誰が負うのか。

総

荻野新衛議員 総合戦略、ブランドデザインが必要と思うが。

町長 総務課の中に財政から独立した政策企画班を設けて進めていきます。

清野彰議員 防災無線のデジタル化でも障害が多くあると思うが、設計段階で十分な検討が必要では。

町長 デジタル化に向かい

十分検討して取り組んでいきます。

市原時夫議員 地域の元氣臨時交付金等の獲得を積極的にやるべきではないか。

町長 情報を集め、今後も積極的に取り組みます。

議員 新エネルギーはガス利用だけでなく、自然エネルギー活用が大切では。

町長 ガス利用だけではなく、町でやるべき事業と民間でやってもらう事業を分けて町はその支援をする対応をしていきます。

田邊明佳議員 若者定住住宅は、過疎地域で成功してこそ人口流出を止め、町発展の意味があると思うが。

町長 今回は、町で一番若



デジタル対応の屋外小局

者に好まれる地域ということとで選定しましたが、今後は郊外も進めていきます。

財政

幸治正雄議員 税収伸び悩みの中、予算の2.3%増の根拠は。

町長 留保財源の部分を作るべく見ないということとあり、収入増があると見込んだものではありません。

今関澄男議員 妥当な留保財源とはどの程度か。

企画財政担当主幹 基準財政規模の3から5%が望ましいといわれており、本町ですと7千万円から1億円です。新年度は1億円を見込んでいます。

議員 町制30周年の年であり、ふるさと納税への取り組みを強化しては。

町長 報奨金5万円のあり方も含め積極的に進めます。

地域振興

今関澄男議員 農業活性化基金創設の目標額と期間や、支援対策の具体的内容は。



境界杭

米のブランド化の具体的な方向性は。

町長 基金は、毎年1億円ずつ、5億円が目標です。

専門の職員を4月から採用し、各地区に出での農業法人などの組織づくり、認定農業者のあり方など柔軟な対応を進めます。また、国庫補助制度も想定しながら進めます。

ブランド化は、食味鑑定85点を超えたものについては新しいネーミングを考えます。

議員 基金を活用できる組織・個人への育成過程での基金活用は。

また、ブランド化に向けての、流通への大胆・細かな戦略は。

町長 基金は、新しい営農組織の立ち上げなど推進費を加味しながら進めます。ブランド化は、卸の方へ

自信を持ってアピールできる確かな根拠が大事と考えます。

田邊明佳議員 後継者のいない認定農家の方への育成の考えは。

町長 もうかる経営のあり方が根本と思いますが、後継者のいない方の受け皿としての組織化も進めます。

議員 町内主要道路整備実施が、健幸長寿のまちづくりの付け足しのようになっているが、町は関心がないのか。

町長 決してそうではありません。一級町道の改修等も計画しています。

議員 中小企業円滑法の期限が3月末だが、影響と対策は。

地域振興課長 県から策についての話がありました。パンフレット等の配布も求められています。

疑

市原裕一議員 農業活性化推進基金による計画が達成された後の本町の農業は。
町長 農業経営と環境を守る、この二つの方向を目指します。

市原重光議員 提案説明に商工業関係がない。減額になっていくが、考え方は。
町長 国の緊急雇用対策事業の部分が減額であり、商工業の補助金を減らしたというものはありません。

質

市原時夫議員 町の農業を食の安全・新鮮・おいしいという視点から誇りを持つことができる位置付けが必要では。
町長 寺崎直売所なども安全なもの地元の方が作るという意欲でやっています。が、町としても安全な食料を意識しています。

括

田邊明佳議員 障害者申請をされた方が3か月進捗状況も知らされず、ほっておかれ、許可が出た日に亡くなった。皆さんの勤務態度ではないか。町民サービスがなっていないのでは。
町長 職員対応のご指摘については、職員教育、グループでの機構改革を行うなど改善してまいります。

総



公民館まで延長した小湊バス

市原時夫議員 高齢者への対応で、高齢者の尊厳を保持するという法律の規定を活かすことを明確にすべき
町長 山林の活用も考えていきます。

荻野新衛議員 農業基金の積立てとともに、成果の出る予算配分が必要では。
町長 いわれるように、積みながらも、使っていくという同時進行で考えていきます。

議員 新規需要米に補助を出すことは、どういうメリットがあるのか。
地域振興課長 少しでも多くの収入を得るための方策としての制度をとっています。

幸治孝明議員 子育て支援の予算額が増えているが。
国保健康担当主幹 未熟児に対しては医療費の助成を新たに加えます。

福祉

教育

町長 高齢者の持つている、知識・能力を活かす施策を展開したいと考えています。
議員 福祉タクシートの拡充もあるが、デマンドタクシー制度も同時に検討すべきでは。
町長 1年間かけて福祉タクシートの拡大を図っていきます。

清野彰議員 子育て支援として、屋外で遊ぶ施設が必要では。
町長 山林の活用も考えていきます。

議員 総合運動公園の施設を利用しやすくする環境を整えたとあるが具体策はなにか。
町長 トレーニングルームに機器を置いて、拡充を進めていきます。

指摘要望事項
 一、町制施行30周年の年にあたり、「ふるさと陸沢」を広く町内外に情報発信するとともに、今後も「住んでよかった陸沢、住んでみたい陸沢」の実現に向けて努力されたい。

指摘要望事項
 一、町制施行30周年の年にあたり、「ふるさと陸沢」を広く町内外に情報発信するとともに、今後も「住んでよかった陸沢、住んでみたい陸沢」の実現に向けて努力されたい。

平成25年度予算審査特別委員会審査結果報告

委員長 市原重光

委員の構成

議員全員による特別委員会
 委員長 市原重光
 副委員長 市原時夫
 副委員長 幸治正雄
 副委員長 岡澤宏一

審査の結果

慎重審査の結果、平成25年度陸沢町一般会計外5特別会計予算は、それぞれ原案の通り可決することに決定しました。

的かつ円滑な事業の推進に努められたい。

一、農業の推進にあたっては、集落営農型農業の推進、担い手農家の育成や耕作放棄地の解消を図るとともに、環境保全型農業の推進と併せて、米のブランド化の促進に努められたい。

一、平成22年度から平成26年度までの「陸沢町第2次集中改革プラン」に基づき、行財政を再構築するため、職員一人一人が意識改革を念頭に、さらに創意工夫に努め、各種事業を進められたい。



予算審査特別委員会

国民健康保険 特別会計

疑

市原時夫議員 財政調整基金の繰り入れを行いながら現在の税率を維持しているところがあるが、基金の推移はどうなっているのか。

町長 ここ10年間の状況では、一時期大幅に減りましたが、平成20年度からは1億円弱で推移しています。

質

議員 基金が減って値上げをせざるを得ないという認識に導く説明であり、実態と違うのではないか。また、県内の市町村で一般会計繰入を行っているのはどれくらいか。

町長 そういった意図はありませんが、記述には気を付けます。

総

国保健康担当主幹 数字を



北部地区農集排水処理施設

把握していませんので予算特別委員会でご報告します。議員 私の調査では平成21年度で54市町村中19市町村が繰り入れしていない。基金が増えているのだから、税率を引き上げる前に取り崩しや一般会計の繰り入れをしようか。

町長 一般的にいわれる医療費にかかる部分の2から3か月分の基金を持って非常時に備えるという考えです。繰り入れについては給料分をすでに入れていて、その他については考えていません。

今関澄男議員 保険給付額を減らすには、日常における食生活を含めた地域での保健活動の活発化が必要ではないか。栄養士を中心とした活動は認識しているが、地域のリーダーの育成に取り組むべきでは。

町長 ぜひその方向で取り組みたいと思います。

農業集落排水 事業特別会計

幸治孝明議員 新規の合併

浄化槽は、補正では16基の実績で今回は30基ということだが、その理由は。

町長 若者定住で10件見込んでいることと、環境を守るということで目標を高められています。

市原時夫議員 計画は作るが毎回達成しきれないないが、説明会など何らかの手を打つべきでは。新たな策はあるのか。

町長 部内調整をしまして、そのような方向に持っていければと思います。

介護保険 特別会計

市原時夫議員 介護認定審査会の結果に問題はないか。健康福祉課長 苦情はありません。

今関澄男議員 待機者と施設の整備状況は。

健康福祉課長 待機者は72人です。特養施設関係は、計画で50人という定数の中で増床を考えています。グループホーム関係は1ユニット増床で9名です。

かずさ有機 センター特別会計

今関澄男議員 たい肥の散布量を増やすための、今後の拡大意識等を含めての対応、方策等は。

町長 県からの職員の派遣を受けようとしています。また、かずさ有機センターは陸沢町の農業の核となる施設ですので指導していただきながら、拡大に向けて強力に進めていきます。

市原時夫議員 環境保全型農業直接支援対策はいつまで続くのか。成牛230頭分とあるが今後の見込みは。また良質たい肥の活用化によるブランド化はどが差別化なのか。

町長 環境保全型農業直接支援対策は千葉県でも陸沢町のみで特認事業です。期間は5年と伺っていますが、5年後に向け日々活動要求をしていきます。成牛の数は毎年変わっていきまますので、酪農家とよく協議していきます。良質たい肥によるブランド化は、化学肥料や農薬を少なくし、安全・

安心なお米を作ってブランド化を図っていきます。

後期高齢者 医療特別会計

市原時夫議員 事務経費等の負担割合は。

健康福祉課長 共通経費は均等割10%、人口割40%、高齢者割60%となっています。

議員 小さな自治体の負担割合が多いというのは変わらないのか。その問題を今後取り上げていく考えは。課長 郡内の町村で要望書を出したところです。



一般会計

反対討論

市原時夫議員

今、町政に求められているのは、安全、暮らし破壊など戦後政治のゆがみによる町民の命と暮らしが脅かされている閉そく状況から、町民を守り、現在と将来を



太陽光パネル

町民と共に切り開く方向と施策を示し実行することだ。
第1に、この認識がない。雇用確保の施策と町独自の負担軽減を行うべきだ。
第2に、子育て支援の特徴を活かす上でも、学童保育指導員や保育士など臨時職員の待遇改善が必要だ。
第3に、高齢者対策は福祉タクシーの拡充にとどま

らず、住民合意によるデマンドタクシーなど足の確保が求められる。
第4に、住民の力による自然エネルギー確保の町として自ら安全なまちづくりへの取り組みが弱い。
第5に、住民参加型に向けまちづくり委員会の拡充の方向が弱い。
以上の指摘と提案を行い反対です。

賛成討論

田中憲一議員

後期基本計画の重点施策である、農業、子育て、健康、協働・防災のまちづくり実現に向けて、目的と将来像がわかりやすく住民に理解を得やすい予算内容である。
若者定住促進事業は、町内外の関心も非常に高く期待が持てる。事業の継続を求める。
意見交換会の開催は町民との一体感を感じる。
福祉タクシーの見直しなど町民の利便性が図られている。
農業活性化基金は農業従事者の不安感が払しょくさ

反対討論

荻野新衛議員

れることを期待する。
直接的な税収の伸びが見込めない中、徹底した歳入の見直しや繰越額の縮小及び国県補助金等財源確保、各種の新たな施策を導入しながらも健全財政に努めていることは評価できる。
町政施行30周年の中の飛躍を期待し賛成です。

賛成討論

麻生安夫議員

何が何でも全部反対ではないが、若者住宅建設は、3億2千万円の予算だ。補助金等で実質7千万円とのことだが、家賃補助を加えると一人150万円の町補助となるのではないかと。そこまですて実施すべきなのか。
第2に、新規需要米への単独補助は、県下では、白子町と睦沢町だけだ。農家への戸別補償を考えれば愚策だ。
第3に、若者定住住宅の場所が問題だ。児童・生徒数の減少のことを考え、学区のことを考えるべきだ。
以上反対討論です。

少子高齢化の進行による人口抑制に対し、子育て支援の充実、住宅取得等関連補助金、住宅リフォーム補助金など評価できる。
若者定住賃貸住宅建設や防災無線のデジタル更新、衛星携帯電話の導入、避難所誘導表示の増設、防災機材の整備、津波被害対策、防災組織、地域ごとの防災訓練など期待できる。
体育館施設改修など健康長寿のまちづくりなどもあり、賛成です。



中央団地

国保特別会計

反対討論

市原時夫議員

国民健康保険は、生涯という視点からみれば、全住民の生活と命にかかわる制度である。

論

高い国保税、資格証明書制度は暮らしを圧迫している。

国が自らの負担を削減し、自治体と住民に押し付けたことが根本だが、町の独自の負担軽減という視点から、基金の活用とともに、県内で多くの自治体が実施して

賛成討論

清野 彰議員

国民皆保険の根源をなす制度として充実が図られてきた。

本町も高齢化率32%を越える中、安定した役割を果たしている。医療費抑制についても新たに腎臓にかかわる血清クレアチニン検査や眼底検査も追加されるなど、素晴らしい取り組みがされており賛成です。

いる一般財源繰り入れも含め実施すべきということを目指し反対です。

介護保険特別会計

反対討論

市原時夫議員

介護等を必要とする人を社会全体で支える制度と町長は説明している。

しかし実態は、要介護者の基準の変更によるサービス削減や負担増大、施設不足、施設運営と職員待遇の改善が進まず、まさに命は金次第という状態ではないか。

制度自体の改善とともに町の独自負担軽減を求めて反対です。

賛成討論

市原裕一議員

介護給付費が年々増加の一途をたどる中、必要な介護を受けられるために必要な制度である。

介護重度化防止対策事業など新たな実施もあり、さらなる推進を求め賛成です。



反対討論

市原時夫議員

全県的な運営という仕組みの中で、共通経費負担が、小さい自治体の割合が大きいため、正されず、世界的にも例のない、年齢で医療を差別する制度の根本的な矛盾をもった内容であり反対です。

後期高齢者医療特別会計

反対討論

市原時夫議員

全県的な運営という仕組みの中で、共通経費負担が、小さい自治体の割合が大きいため、正されず、世界的にも例のない、年齢で医療を差別する制度の根本的な矛盾をもった内容であり反対です。

賛成討論

岡澤宏一議員

保険料は所得の低い方への軽減に配慮されており、人間ドックの基本検査と脳ドックの補助など、高齢者が安心して医療を受けるためなくてはならない制度であり賛成です。



社会福祉協議会貸出し用車両

こんなことが決まりました

条例の制定・改正など

(議案第1号)

公益的法人等への職員

派遣等に関する条例の制定

公益的法人等への職員の派遣の適正化、手続きの透明化、派遣職員の身分取り扱いの明確化を図るとともに地域における人材の有効利用を通じて行政と民間との適正な連携協力により、地方公共団体の諸政策を推進するためのものです。

質疑

市原時夫議員 公益的法人として社会福祉協議会と明記しているが、ほかに対象となるものはあるか。

総務課長 現段階ではありません。

議員 現段階ではないというが今後、法人のようなものでの可能性と、これまで条例がなかったことで不利益をこうむることはなかったか。

課長 他の自治体には土地開発公社、産業振興財団、教育振興財団、スポーツ振興財団等があります。社団・行政法人、独立行政法人等が当たるので今後町が団体を作り別事業をやる場合に派遣できることとなります。これまで不利益はなかったと考えます。



消防機庫 (川島)

今関澄男議員 町長以外の任命権者とはだれか。

また、10年間不利益はなかったというが断言できるか。

総務課長 教育委員会が挙げられます。

また不利益はなかったと思います。

(議案第2号)

陸沢町指定地域密着型サービス

(議案第3号)

陸沢町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例の制定

議員 議案第2号、議案第3号の条例とも、厚生労働省令で定められていたものが市町村条例で定めることとなりました。

質疑

今関澄男議員 本町においてどの程度の施設が見込めるか。
健康福祉課長 特別養護老

人ホームの増設あるいはグループホームを計画しています。施設の設置計画はありません。

市原時夫議員 町内だけでなく町外を認めることが想定されるのでは。

健康福祉課長 町外の施設に頼る場合は相手方市町村の実情に応じた対応になると思います。

(議案第4号)

陸沢町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定

議員 新型インフルエンザについて国の緊急事態宣言が発令された時、直ちに対策本部を設置することと組織運営に必要な事項を定めるためのものです。

市原時夫議員 対策本部は本部長に町長があたり本部委員は副町長、教育長、消防支団長、町職員の構成となります。

質疑

荻野新衛議員 説明では消防団長ということであるが、**国保健康担当主幹** 消防団長ではなく消防支団長でした。



議員 訂正の機会があったはずだが。

町長 訂正が遅れて申し訳ありません。以後気をつけさせます。

市原時夫議員 常設としておくのか。

国保健康担当主幹 国の緊急事態宣言がされた時に立ち上げます。

議員 インフルエンザについて対策本部を置く意味と必要性はなにか。

町長 昨年、多数の方が死に至るかもしれない鳥インフルエンザが海外から国内に来る可能性があるというようなことがありました。そのような場合の緊急事態に備えての法律の制定を受けての条例ということになっています。

こんなことが決まりました



(議案第5号)

陸沢町農業活性化推進基金の設置、管理及び処分に関する条例の制定

将来の本町の農業経営の確立を目指し、耕作放棄地の解消や後継者の育成、地域営農組織の施設整備を推進するため、陸沢町農業活性化推進基金を設置するものです。

質疑

市原時夫議員 規約の定めのある団体とあるが規約が

ないと該当しないのか。

町長 任意の団体がすべて対象となってしまうので一定の歯止めをかけるということですが。団体に前向きな姿勢が見られれば町も指導協力し規約を定めていただき進めたいと考えます。

議員 後継者の育成についての検討は。

また、新規に農業にかかわりたい人にはどうか。

町長 技術があるが後継者のいない農家、逆に個人的に他人から無償で引き継ぐ

難しさがありません。農業会議や県からの技術専門員の指導を受けたり、あるいは法人に入っていたり、あるいは考えながら進めたいと思います。

市原重光議員 大規模農家は10ha、認定農業者は3ha以上とあるが。

町長 認定農業者は有利な制度があり、面積が少なくても認定者と認め、認定農業者に進んでほしいと思っています。3ha以上あれば本人が拒否しない限り認定農業者ということで活用いただけると考えています。

議員 国の補助制度を活用し支援が大きくなるようにしたらどうか。また具体策は。

町長 国県の補助はハードルが高い分、その努力を認め、補助率を変えていきたいと考えます。

内容は皆さんと一緒に考え、歩きながら決めていきたいと思っています。

今関澄男議員 農業は自然環境を守るという観点もありハードルを下げた考えも必要と思うが。



寺崎新町営農組合

町長 高いハードルだけでなく、地域環境を守るという観点から活用できる基金にしたいと考えています。

幸治孝明議員 処分という項目の意味は。また町長が認める場合はその限りでないところがあるが。

地域振興課長 基金を使用するという事です。また規定以外に新たに発生した場合に備えたものです。

田邊明佳議員 耕作者が投資までして道路沿いの草刈りをしなければならぬのは。

町長 町道の管理は町が管理するのが原則です。作業への補助金もあります。慣例でお願いしています。

地域振興課長 補助制度を活用しての対応を探しているところです。

こんなことが決まりました



拡幅計画が進む道路(上市場)

(議案第6号)
陸沢町道路の構造の技術的基準を定める条例の制定

(議案第7号)

陸沢町道路に設ける案内標識及び警戒標識等の寸法を定める条例の制定

地域の自主性・自律性を高めるための改革の推進を図る法律施行により道路法の一部が改正されました。町で条例を制定するものです。

質疑

市原時夫議員 特殊なものとなると、ばらばらでもよいと捉えられるがこの意味はなにか。

地域振興課長 国の一括法ができたことにより各自治体で条例を制定するものです。

議員 道路の構造そのものを変えてもいいということではないか。

課長 市町村でできる部分を変えてもいいということです。

(議案第8号)

陸沢町営住宅等の整備基準を定める条例の制定

町営住宅及び共同施設の整備に関する基準を定めるものです。

質疑

幸治正雄議員 町営住宅の今後のあり方は。

地域振興課長 将来的にはどのような方向で進むか、基準を検討するような場所を設けていきたいと思っています。

議員 新しくしていくという考え方は持っていないということか。

課長 現状のままでやらせていただきます。

市原時夫議員 抽象的なものがあり、あいまいな規定のような気がするが。

地域振興課長 条例で制定したことにより町の方が色々できる可能性が増えたというふうに考えています。



うめ丸くんともみ太郎

(議案第9号)

陸沢町情報公開条例の一部を改正する条例の制定

「国の機関若しくは他の地方公共団体が行う事務」を、「国、独立行政法人等、他の地方公共団体若しくは、地方独立行政法人が行う事務」に改めるものです。

(議案第10号)

陸沢町防災会議条例の一部を改正する条例の制定

自主防災組織を構成する者又は学識経験のある者のうちから町長が任命する者を2人以内とするものです。

質疑

市原時夫議員 学識経験者というのは具体的にどういうことか。

こんなことが決まりました



こども園

(議案第11号)

特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定

睦沢町学校等問題調査検討委員会委員を加えるものです。

(議案第12号)

睦沢町使用料条例の一部を改正する条例の制定

中央公民館の児童室が教

育委員会に変更となるため使用料の改定です。

質疑

市原時夫議員 使用料の軽減の検討はなかったか。

町長 教育委員会の場所の関係から、使用料については検討していません。

(議案第13号)

睦沢町立睦沢こども園条例の一部を改正する条例の制定

条例内の「一時保育」を「一時預かり」に改め、また法律により廃止された年少扶養控除及び特定扶養控除による保育料への影響を可能な限り生じさせないようにするものです。

質疑

市原時夫議員 保護者の負担を変えないということか。

こども園園長 その通りです。

(議案第14号)

睦沢町重度心身障害者(児)の医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定

法律の名称変更による改正です。

(議案第15号)

睦沢町営土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定

土地改良法の一部が改正されたことによるものです。

質疑

市原時夫議員 土地改良事業の経費は、現在適用されているのか。

地域振興課長 賦課徴収をしている事例はありません。

(議案第16号)

睦沢町道路占用条例の一部を改正する条例の制定

道路施行令の一部が改正されたことによるものです。

(議案第17号)

睦沢町営住宅設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定

公営住宅法の一部が改正されたことによる改正です。

質疑

市原時夫議員 入居者の幅が広がることだと思いが、

想定範囲は、

地域振興課長 障害者基本法の範ちゅうや原子爆弾の被害者、海外からの引揚げ者、高齢者世帯、子育て世帯、震災関係の被災者など

です。

また、法律で金額が決まったので入れました。

(議案第29号)

公の施設に係る指定管理者の指定

睦沢町社会福祉協議会を公の施設の管理者として引き続き指定するものです。



移転後の教育課

こんなことが決まりました

補正予算・その他

(議案第18号)

平成24年度陸沢町一般会計補正予算(第8号)

4千239万円を追加し、補正後の予算額は30億9千182万3千円となりました。
歳入は町税を決算見込みにより1千300万円を追加、国県支出金については各種補助事業等の実績を見込み加減し、このうち土木費、国庫補助金は橋梁維持事業等です。



町内の福祉施設

歳出は議員数1名減による議会費の減額、総務費で財政調整積立基金への積立で、教育施設整備基金への積立です。

商工費で地域自立型買い物弱者対策支援補助金を計上しました。

質疑

市原時夫議員 減額補正しているが、目標を達成した中での減額と理解してよい

のか。
町長 達成できて、残ったものについて補正し、明確に数字に表すようにしたものです。

議員 緊急雇用創出臨時特例基金事業補助金は具体的にどういう内容で補助されるのか。

町長 緊急雇用で介護施設の募集を職安で行いましたが応募がありませんでした。
地域振興課長 介護の緊急雇用では、2名の申請があります。当初の目的は達成できませんでした。

議員 緊急雇用問題については、内容を深める必要があるのでは。
課長 介護職の就労支援事業について、検討と分析を行い対策していきます。

町長 今後研さんをして努力させていただきます。
議員 町のPRで、ガイドマップ作成だけでは良いということにはならないが。

町長 町の広報誌等につきましても、専門のプロに指示をいただきながら改良していきます。

市原重光議員 小学校費、

学校管理費の予算は全体でいくらだったのか。

教育課長 小学校費全体の工事請負費は5千316万4千円です。

議員 余ったお金は教育設備基金に積むということ認識してよいのか。

課長 そういう認識で結構でございます。

議員 最初から予算を大きくして、余りを出すことはやりすぎではないか。

町長 予算の要求につきましても、趣旨にのっとり指示しております。

幸治正雄議員 中央団地、長者団地の取得補助金があるので、売れた区画と残っている区画は。

総務課長 中央団地が1件1区画、長者団地が7件8区画販売しました。中



瑞沢小学校

央団地が1区画、長者団地が13区画です。
企画財政担当主幹 中央団地で1世帯、長者団地で6世帯の土地の取得奨励金申請がありました。
議員 浄化槽の補助金が減額になっているが、執行がほとんどされなかったというところか。
生活環境担当主幹 特定事業で実施しましたので該当者がいなく減額させていた

こんなことが決まりました

(議案第19号)

平成24年度陸沢町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

5千517万8千円を追加し、補正後の予算額は11億210万8千円となりました。

質疑

市原時夫議員 安定化してきているが予防対策の表れか。

町長 議員のおっしゃる通り検診の充実との関係も感じています。

議員 過度に支出を考えているようでもあり歳入歳出の流れの実態に合わせるべきでは。

町長 過去の実績を踏まえ対応し、当初に基金を取り崩すといこともさせていただいています。

議員 基金はいくらか。

国保健康担当主幹 1億2千5百万円です。

今関澄男議員 徴収補助員報酬が増えているが、また、出産育児一時金の増は。

税務住民課長 国保税の徴収が増えているのも一因です。

国保健康担当主幹 出産は当初12名でしたがすでに12名の支出があり、もう2名の補正です。

議員 徴収補助員の人数は。

課長 国保税の徴収補助員は他の町税も合わせ徴収し、1名です。

(議案第20号)

平成24年度陸沢町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)

1千535万3千円を減額し、補正後の予算額は6千333万9千円となりました。

質疑

市原時夫議員 陸沢町を自然あふれる町にする方向性をもっと出したらどうか。

町長 産業発展の起爆剤になるので強力に進めます。

(議案第21号)

平成24年度陸沢町介護保険特別会計補正予算(第2号)

2千179万5千円を減額し、補正後の予算額は6億4千636万5千円となりました。

質疑

市原時夫議員 居宅介護サービスが施設介護をこえたというが。

健康福祉課長 居宅サービスでは、予防的な介護支援が増えています。施設待機者も増加しているのが現状ですが、ご理解をお願いします。

議員 理解というが、努力を願いたい。

町長 施設については問い合わせもあり、結果につなげたいと考えます。

今関澄男議員 基金積立残高は。

健康福祉課長 正確な数字がありませんが550か600万円くらいだと思います。

(議案第22号)

平成24年度陸沢町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

50万6千円を減額し、補正後の予算額は7千501万2千円となりました。

質疑

市原重光議員 保険料の減額がされているが。

健康福祉課長 保険料の算定は広域連合ですが、人数に70名ほどの誤りがあり、200万円ほどの減額となりました。

市原時夫議員 広域連合納付金として負担金、補助金及び交付金とあるが。

健康福祉課長 保険料分の過年度分精算です。

(議案第30号)

監査委員の選任

任期満了に伴い、次の方の選任に同意しました。

住所 陸沢町上市場

氏名 246番地48 生田 昌司氏

昭和22年8月6日生

(議案第31号)

固定資産評価委員の選任

任期満了に伴い、次の方の選任に同意しました。

住所 茂原市茂原

氏名 1565番地12 豊田 正一氏

昭和32年9月12日生

(議案第32号)

教育委員会委員の選任

任期満了に伴い、次の方の選任に同意しました。

住所 陸沢町長楽寺

氏名 82番地 江澤 友子氏

昭和29年9月10日生



一般質問

清野 彰 議員

町の核を「文化と歴史と里山」に
位置づけを

町長 中房総観光推進でPR



新たに設けられた政策企画班

平成26年3月から5月に南市原地区で、「いちほらアート×ミックスフェスティバル」が計画されている。

睦沢町を知ってもらおう絶好のチャンスと考える。町の核を「文化と歴史と里山」に位置づけ、行政と町民が協働してまちづくりに取り組みべきではないか。

町長 中房総観光推進ネットワーク協議会に参加し町のPRを行っていきます。平成25年度は、町制施行30周年記念事業を行い、町内外へPRしていきます。

議員 行政の横のつながりも必要です。「文化と歴史と里山」をどのようにアピールしていくのか。

町長 4月から総務課の中

町政の課題を問う

に政策企画班を新たに設け、町全体の政策・企画を専門的に行い、各課の連携を進めていきます。

議員 地域振興に関して、里山と歴史についての考えは。

地域振興課長 民間やNPO法人による支援活動も必要であり協力し合って進めていきたいと思えます。



前立腺がんの検診を増やすべきではないか

受診率の向上に努めます

議員 前立腺がんが増えてきている。健康保険料や精神的な負担を少なくする面から、年1回の検診を2回に増やせないか。また、受診率の推移はどのようになっているか。

町長 年1回とし、受診期間を6日から7日に増やし、検診等受診率の向上を目指します。受診率の推移は、年々上昇傾向にあり、平成24年度は21・8%でした。

災害時に使える公衆電話設置を

町長 特設公衆電話設置へ向けて

3・11東日本大震災から2年を迎えた。千葉県防災計画では南関東地域で今後30年以内にマグニチュード7程度の地震が発生する確率は70%程度とされている。災害時における住民の連絡体制として、緊急時でも通話できる公衆電話の確保が必要と思うが。

町長 町の公衆電話は、公共機関を中心に13か所設置されていますが、今後、災害時に、無料で使用できる特設公衆電話を広域避難所に設置するようNTTに要

地域防災訓練と原発ゼロを

住民が体験できる防災訓練に

議員 防災訓練のあり方を、地域ごとに具体化するべきでは。

そして、住民・子どもたちの安全を根本的に守るためには、どうしても、原発は、すべて廃炉に向けて踏み出し、再稼働、新設をさせないという点を防災計画にも明記すべきではないか。
町長 平成25年度は、各区により想定される災害が異

望みます。



道の駅の公衆電話

なることから、自主防災組織の育成と併せて、実際に一時避難所まで避難していただく訓練を行います。
また、3・11は、巨大地震と津波、原発事故と未曾有の被害をもたらしましたが、町の防災計画は、千葉県の計画見直しを参考に修正を25年度・26年度にかけて行います。

くらし破壊から住民守る町政に

町民の対話と協調による協働のまちづくり

議員 「金がないと死ぬしかないのでは」とか、中学生からは「大企業の工場誘致ではなく仕事をつくってほしい」という町のアンケートの回答のように住民の切実な声の一つは暮らしを支えることだ。

町として大企業に対して

医療負担軽減・長生病院充実を

近隣市町村との状況も見ながら

議員 若者定住促進の意味からも、高校卒業年齢までの、医療費無料化を実現すべきではないか。

また、重度心身障害者児の医療費を立て替え払いから現物給付制度にし、負担軽減を行うのはどうか。

長生病院の救急医療など充実はどうなっているか。

町長 高校までの医療費助成は、子育て支援策を総合的に判断し、近隣市町村との均衡を失しないよう拡大を検討します。



重度心身障害者児医療助成は、県の対応を見つつ、現物給付へ努力します。
長生病院では、平成25年度に救急処置室の整備拡充など新しく新A棟の建設を行います。

一般質問

幸治 孝明 議員

かずさ有機センターの施設使用料の見直し後の状況はどうなっているか

町長 全量搬入に向け指導してまいります

昨年の臨時議会でかずさ有機センターの施設使用料金の見直しを行った。施設使用料が安くなればふん尿の持ち込みがよりたやすくなり、もみ殻たい肥の原料も確保され一石二鳥と期待されている。

あれから時間が経過したがその後の状況はどうか。

町長 酪農家のふん尿すべてを持ち込みできるような料金にしたことで、ふん尿処理量は月平均20%程度増加しております。

今後家畜排泄物法に規定された管理基準に沿って全量搬入に向け指導を行ってまいります。

議員 夫婦堰について排せつ物が有機センターに出されるようになり、また堤や土手を作ったことで流出が減り水質が良くなってきたと聞くがどうか。

町長 水質検査を行っていますが、ここ2年間で大腸菌数は減少したものの、その他の数値に大きな変化は見られません。

今後引き続き調査を行いながら観察してまいります。



かずさ有機センター

す。沈殿している表面の土壌等の調査も進め結果を待つて対策を進めてまいります。

議員 近くの住民の中には、おいの問題、水質の問題などいい出しにくいという人もいる。むつざわ米のブランド化を進める中で排せつ物の問題は避けて通れない。

法的な面など今後の対応はどうか。

町長 家畜排泄物法に規定された管理基準により、ふん尿を畑等に放置することなく全量をかずさ有機センターに持ち込むようさまざまな機会をとらえて指導してまいります。

行政改革委員会の今後の方針は

会長、副会長で協議し開催

議員 行政改革委員会は役場各部門の行政改革に向けた目標について逐次見て行くものであり、町政に対しても意見をまとめ進言していくものと理解している。

これまでの経過を踏まえ今後の方針はどうか。

町長 23年度に開催できなかったことを、お詫びします。

今後は会長、副会長で協議し必要に応じ開催し年1ないし2回開催すると伺っています。

「町民と語る会」の今後の進め方は

「地区懇談会」を実施

議員 「町民と語る会」だが、町民の要望が直接町長に伝わり良い面もあるが、木の枝を切る、道路の補修といった話になりがちだ。今後の進め方は。

町長 「地区懇談会」を進めております。各16区を回り終えたら要望があればさらに実施したく思います。



麻生 安夫 議員

関東・東海沖地震発生時の安全確保の指示はどうなっているか

町長 速やかに情報収集と伝達を

東日本大震災クラスの地震が関東・東海沖で発生した場合、災害対策本部ほどの位の時間で各職員を組織配置し、町民の安全確保の指示や救護等に当たれるか。

町長 勤務時間内であれば、災害から10分程度で設置できます。

夜間・休日の場合は、町外から通う職員も多く、1時間から数時間かかることも予想されます。

議員 組織というのは、縦のつながりが強い。幹部職員の指示が無ければ動きづらいと思う。対策は。

町長 特別職は全員、町内に在住です。

参集できる範囲で状況を見極めながら、速やかに情報収集と伝達を行い、災害応急活動に即応できる体制をとってまいります。

議員 各区の自主防災組織の進捗状況と、住民の防災意識と危機管理意識の向上の施策は。

町長 自主防災組織は、各区で設立され、動き出したところです。平成24年度は、防災用資機材の整備を行い



防災机上訓練

ましたが、平成25年度も引き続き購入します。

平成24年度は、11月に合同の防災訓練を実施し、10月に睦沢こども園で、千葉県防災計画課と共同で、保護者向けの防災学習会を開催しました。

今後は高齢者向けにも行います。また、地区別の被害を想定した、各自主防災組織での避難訓練を消防団等関係団体と連携し、方法を模索しながら実施してまいります。

議員 川島地区や寺崎地区の海拔の低い所の住民の一時避難への対応は。

町長 川島地区は、津波警報が発令された場合、区民センターか農事集会所が指定されていますが、津波が川を遡上する可能性がありますので、なるべく高台へ避難してください。

長生グリーンライン構想の早期着工を

新たな要望活動を行います

議員 長生グリーンライン構想があるが、早期着工の促進等の行動は。

町長 町として、計画地の先行取得を済ませるなど、準備をしてまいりました。

また、期成同盟会の方々と、国会議員や県会議員を通じて、要望活動を続けてまいりました。

圏央道の開通は、この地域の経済、観光等の期待も大きいこと、更に防災の観点から、避難、物資の輸送等に必要不可欠であることから、この機会を逃すことなく、従来の要望と共に、関係市町村と連携し、新たな要望活動を行います。

また、地域一体となった

その後、どの広域避難場所へ誘導するか検討して伝達します。両地区につきましては、区長さん等とよく協議して、今後の方策を練ってまいります。

講演会やシンポジウムの開催により、一日も早い完成を願う熱意を届け続けてまいります。



圏央道見学会

一般質問

荻野 新衛 議員

行政改革推進委員会は
特色ある委員増で集中して

町長 回数にこだわらず必要に応じて開催



若者定住型賃貸住宅地(上之郷)

行政改革推進委員会のあり方だが、事務局主導では改革の効果はできないと思う。

委員数並びに特色のある人の増員で、集中して改革をやるべきと思うが。

町長 会長、副会長で協議し必要に応じて開催することですが、回数にこだわらず会議の開催をしていただくつもりです。
議員 いろいろなタイプ・特色ある委員が必要であり

集中して半年なりで答えを出すことが必要。

私は非常勤特別職の委員の一回の報酬が5千500円なので議員はこれを返上し、委員会報酬を3千円にしようと議員に提案したが決められないのが現実です。

行政改革推進委員会で全てにおいて見直しを行っていただきたい。
町長 委員の構成、メンバーの数など前向きに検討します。

リバーサイドタウン事業は検討が必要では

人口減少への対応として

議員 リバーサイドタウンには、約3億2千万円を投入し、若者定住の住宅18戸を建設だが、町長就任後、3か月で計画ができてきた

が、これだけの事業なので内部で十二分に協議してから、3月のこの議会で提案すべきではないか。

町長 平成14年末の人口より10年間で約800人の減となりました。

もし、急激な人口減少が起きた場合、医療面、福祉面での体制整備、子どもが健全に成長するための環境や教育を補う体制整備が急務となります。

急激な人口の減少がいろいろな問題を引き起こすのではという問題の捉え方をしております。

町長に就任するずっと前から若者の定住をより促進するための住宅建設を一日も早く行いたいと念願していたので、12月議会に提案しました。

議員 10年間で800人の人口の減となったが、急に人口が2千人、3千人になるなら別だが緩やかな変化だと思ふ。

新しい時代の結婚相談など婚活が必要ではないか。いろいろな手だてをした中で町の活力を生み出すべきではないか。

この事業一時的な効果はあるだろうが、キレイ、キレイ、で真っ暗になる打ち上げ花火と同じと思う。費用対効果、メリットなどはどうなのか。

町長 急激な人口減少を食い止めることにより、医療福祉、教育関係、その他さまざまな問題を回避することはできなくても、先に延ばすことで徐々に地ならしができるのではないかと考えています。

3億円の投資ですが最終的には7千万円強の投資で今回は済みます。

田中 憲一 議員

地元商工会等とネットワークを構築し、地域活性化の推進を

町長 新たな補助事業も検討



睦沢商工会館

地元商工会等とネットワークを構築し、地域活性化の推進を図るべきだ。

町長 商工会等とは、相互の意見を集約するため積極的に町職員を打ち合わせ会等へも参加し、町の取組みへのご理解をいただくとともに、商工会等の事業実施の取組みにも協力してまいります。

議員 地域活性化住民提案事業補助金を募集したところ、6団体が実施に至ったようだが、そのうちの3つ

の団体は商工会員の方が携わっているのが実態です。商工会員の持っているポテンシャルが形になったのでは。

昨年、自民党政権に戻り、国や県ではさまざまな地域活性化の補助金政策が打ち出されているようだが、町としてどう取組んでいくのか。

町長 国や県からの交付金や助成事業についても、照会しながらより良い支援策がないか検討していきます。きめ細かな情報の共有を基本として、地域活性化を推進し、本年度は、「まちなか元気会」や「睦沢べっぴん会」への地域活性化住民提案事業による物産販売や商品開発。

ブルーベリー酢の販売協力、地域自立型買い物弱者対策支援事業の取り組みなど着実な成果を得ています。一層の広がりができるよう引き続き関係強化に努め、経済産業省とも連携を取りながら、国の補助政策等にもアンテナを高くしながら進めていきます。

上市場地区商店街の今後は

歩道整備事業を まちづくり構想の機会に

議員 後期基本計画の随所に上市場地区商店街の今後のあり方につながる計画が読み取れる。歩道整備事業に絡めた商店街の活性化への取組みは。

町長 千葉県が事業主体となり国庫補助による事業化が決定し、本年度は境界立ち合いがおおむね終了したところ。歩道の事業化が決まり、これから工事に向けて進んでいくこの時点が、まちづくり構想を立てる絶好の機会とと思っています。

健康長寿のまちづくりとして、歩いて買い物ができる人が集うことのできるまちづくりを推進するため、できるだけ早くまちづくり構想に着手したいと思えます。**議員** 町制施行30周年の節目であり、ふるさと『むつざわ』を再認識し意識向上を図るため、むつ『さ』ではなく『な』の共通認識

を持ち帰属意識を高めるべきではないか。

子ども達にしっかりと町の名前を教育しているのか。**町長** 30周年に当たり記念事業の開催に合わせて町民の皆様はもとより、町外の皆様からもふるさと睦沢を再認識していただく大変良い機会となるように広くPRに努めます。

教育長 ふるさと睦沢を再認識するためにも児童・生徒に対して本来の名称を周知します。

議員 子ども達が、たくましく成長できる環境整備をどう考えるか。

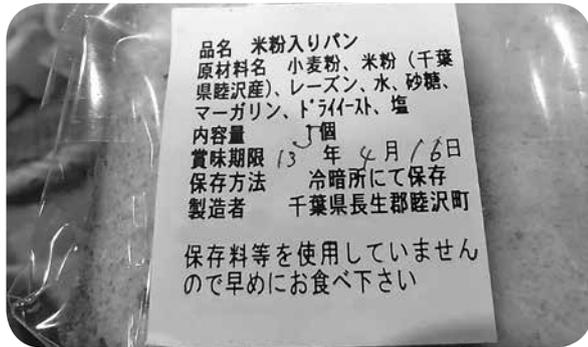
教育長 5月に発足予定の睦沢町学校等問題調査検討委員会において諸問題の調査、検討をいただいた中でより良い方向にと考えています。

一般質問

田邊 明佳 議員

食品表示の一元化への準備は

町長 広く周知へ説明会開催



消費者庁が作成を進めている食品表示法案(仮称)だが、食品衛生法、JAS法、健康増進法の食品表示部分を一元化することを基本に構築するものである。義務付けされると栄養表示や熱量の表示に関して、検査に日数がかかり、費用もかかるなど、睦沢町の加工食品を作っている商店や農家、販売店舗等に多大な影響が出ると思われる。

この件に関して所管の担当課は準備をしているのか。

町長 執行業務は各法律の農政局や法制局から都道府県を通じて行われます。

現在の食品表示

また、87%の自治体で橋やトンネル等の詳細設計図が残されておらず、図面を作り直すのに莫大な費用がかかるという報道があったが、睦沢町は残されているのか。

町長 本町の所有する学校、公民館、体育館等はすべて耐震化率を達成しています。詳細設計図はトンネル1か所と橋長15メートル以上

町は内容を広く周知し説明会を開催し、法令の執行がスムーズに進むようにしたいと考えています。

議員 今の答弁だと現在対策はとっていないが上からいわれたらやるとされるが、その時では遅いのではないのか。先手を打つべきだ。ま

町施設すべて

耐震診断終わっているか

すべて耐震基準を満たしています

議員 町の主だった施設については耐震診断が終了していると思うが、全ての施設について耐震診断が終了しているのか。

た庁内の改革をやるそうだが、職員の意識改革はできるのか。

町長 スピード感を持って対処したいと思います。また、機構改革によって職員がスムーズに機能すると考えます。

の橋梁36橋に対して15か所しか残っていません。必要な文書等の管理を徹底してまいります。

議員 総合運動公園のバツクネットやスコアボード等の構築物は大丈夫なのか。

総務課長 総合運動公園については当時の耐震基準を満たしています。

議員 町所有の建物について、当時の耐震基準を満たしたものは大丈夫だというが、例えば道の駅つどいの郷などは傷んでいると思うが、改めて耐震診断した結果が悪い場合どうするの



杉山トンネル(大上)

か。人の出入りの多い道の駅だからほっとくわけにはいかないのではないのか。

町長 つどいの郷は現在手狭であり、土地の賃貸契約期間もあと9年で切れます。できればあの近くに第2のつどいの郷をと考えています。返還を求められるまでに速やかに、国県の補助制度を活用しながら第2のつどいの郷を現在のところと両方使って広く睦沢町のPRに努めてまいります。

町の歴史・文化財紹介

光福寺の島村圓鉄彫刻

えんてつ

光福寺は下之郷にある曹洞宗のお寺で、開山が天正3(1575)年に長南町

も建て替えのために今年取り壊されました。

三重塔(いづれも国指定重要文化財)、栃木県真岡市大前神社の彫刻(栃木県指定文化財・写真3)、一宮町観明寺の欄間彫刻(一宮町指定文化財)などを手がけて名人といわれました。

写真3 栃木県真岡市の大前神社彫刻

伊八」の3代前の師匠に当たります。光福寺の島村圓鉄彫刻は本堂内陣にあったため風化せず、非常に良好な保存状態で残されていました。この彫刻は、島村圓鉄の作品の基準作ともいうべき大前神社の彫刻や雨引観音本堂の彫刻(写真5)と比べてみると本堂によく似ていて、たしかに島村圓鉄の作品と思われます。光福寺の彫刻は、本堂が新築されたときに再び取り付けられることとなっていて、それまでのあいだ資料館の特集陳列「光福寺の島村圓鉄彫刻展」で展示しています。

待つこと久しく、圏央道が開通しました。まだ、取り付け道路や片側一車線など問題もあるが目的地に早く到達できる手段が一つ増えたことになりました。人の流れも変わるだろうと思われま。

の大林寺六世の興国隆繁大和尚といひます。かつて山門前に、開山の

この光福寺に見事な龍の欄間彫刻が残されています

この彫刻は長らく作者不詳でしたが、雲の並びや龍の鼻、ヒゲの形などから、江戸彫刻研修者の片岡榮氏により島村圓鉄の作と鑑定されました。

三重塔(いづれも国指定重要文化財)、栃木県真岡市大前神社の彫刻(栃木県指定文化財・写真3)、一宮町観明寺の欄間彫刻(一宮町指定文化財)などを手がけて名人といわれました。

光福寺の島村圓鉄彫刻は本堂内陣にあったため風化せず、非常に良好な保存状態で残されていました。この彫刻は、島村圓鉄の作品の基準作ともいうべき大前神社の彫刻や雨引観音本堂の彫刻(写真5)と比べてみると本堂によく似ていて、たしかに島村圓鉄の作品と思われます。光福寺の彫刻は、本堂が新築されたときに再び取り付けられることとなっていて、それまでのあいだ資料館の特集陳列「光福寺の島村圓鉄彫刻展」で展示しています。

議会だよりの内容について質問を受けることがあります。私にとっても大変な励みになります。内容を分かりやすくお願い発行していただけます。紙面に限りがあり、おのずと内容も制限されます。熱心に読んでいただきさらに質問を發してくださる方々に感謝し、さらなる内容向上に向け、努めて行きたいと考えています。

姿の松の木(写真1)があり、「曲がり松」と呼ばれて有名でしたが枯れてしまいました。この松の木の下に下之郷の俳人反暉亭煤柯が建立した土龍庵、百明の句碑がありました。本堂は江戸時代享保期ごろのもので、睦沢町指定文化財の妙楽寺本堂よりも古い歴史のある建造物でしたが、これ

この彫刻は長らく作者不詳でしたが、雲の並びや龍の鼻、ヒゲの形などから、江戸彫刻研修者の片岡榮氏により島村圓鉄の作と鑑定されました。



三重塔(いづれも国指定重要文化財)、栃木県真岡市大前神社の彫刻(栃木県指定文化財・写真3)、一宮町観明寺の欄間彫刻(一宮町指定文化財)などを手がけて名人といわれました。

光福寺の島村圓鉄彫刻は本堂内陣にあったため風化せず、非常に良好な保存状態で残されていました。この彫刻は、島村圓鉄の作品の基準作ともいうべき大前神社の彫刻や雨引観音本堂の彫刻(写真5)と比べてみると本堂によく似ていて、たしかに島村圓鉄の作品と思われます。光福寺の彫刻は、本堂が新築されたときに再び取り付けられることとなっていて、それまでのあいだ資料館の特集陳列「光福寺の島村圓鉄彫刻展」で展示しています。

議会だよりの内容について質問を受けることがあります。私にとっても大変な励みになります。内容を分かりやすくお願い発行していただけます。紙面に限りがあり、おのずと内容も制限されます。熱心に読んでいただきさらに質問を發してくださる方々に感謝し、さらなる内容向上に向け、努めて行きたいと考えています。



写真1 昭和14年ごろの光福寺の曲がり松

この光福寺に見事な龍の欄間彫刻が残されています。この彫刻は長らく作者不詳でしたが、雲の並びや龍の鼻、ヒゲの形などから、江戸彫刻研修者の片岡榮氏により島村圓鉄の作と鑑定されました。



写真4 島村圓鉄の墓



写真5 雨引観音堂の彫刻

睦沢町立歴史民俗資料館 学芸員 久野 一郎

編集後記

議事を傍聴しませんか

第2回(6月)定例会は6月14日(金)から開催の予定です。

詳しくは、議会事務局 44-2510へお問い合わせください。

T・K